

平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 : 川 崎 汽 船 株 式 会 社
 代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 村 上 英 三
 (コー ド 番 号 9 1 0 7 東 証 ・ 名 証 第 一 部 、 福 証)
 問 合 せ 先 : 経 営 企 画 グ ルー プ 長 室 崎 正 浩
 (T E L 0 3 - 3 5 9 5 - 5 5 9 4)

平成 29 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 営 業 外 費 用 (為 替 差 損) の 計 上 に 関 す る お 知 ら せ

平成 28 年 4 月 28 日に公表した平成 29 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 営 業 外 費 用 (為 替 差 損) の 計 上 に つ い て 、 お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成 29 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

(1) 修 正 の 内 容 (連 結)

1) 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 予 想 (平 成 28 年 4 月 1 日 ~ 平 成 28 年 9 月 30 日)

	第 2 四 半 期 累 計 期 間				
	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平 成 28 年 4 月 28 日 公 表)	百 万 円 530,000	百 万 円 △ 2,000	百 万 円 △ 3,000	百 万 円 △ 37,000	円 銭 △ 39.48
今 回 修 正 予 想 (B)	500,000	△ 18,000	△ 27,000	△ 40,000	△ 42.68
増 減 額 (B - A)	△ 30,000	△ 16,000	△ 24,000	△ 3,000	△ 3.20
増 減 率 (%)	△ 5.7%	-	-	-	-
(ご 参 考) 前 期 連 結 実 績 (平 成 27 年 9 月 期)	668,338	18,774	15,970	11,678	12.46

2) 通 期 の 連 結 業 績 予 想 (平 成 28 年 4 月 1 日 ~ 平 成 29 年 3 月 31 日)

	通 期				
	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平 成 28 年 4 月 28 日 公 表)	百 万 円 1,100,000	百 万 円 17,000	百 万 円 15,000	百 万 円 △ 35,000	円 銭 △ 37.34
今 回 修 正 予 想 (B)	1,030,000	△ 13,000	△ 21,500	△ 45,500	△ 48.55
増 減 額 (B - A)	△ 70,000	△ 30,000	△ 36,500	△ 10,500	△ 11.21
増 減 率 (%)	△ 6.4%	-	-	-	-
(ご 参 考) 前 期 連 結 実 績 (平 成 28 年 3 月 期)	1,243,932	9,427	3,338	△ 51,499	△ 54.95

(2) 修正の理由

地政学リスクの高まりなどによる政治及び経済環境の不透明さが増す中、円高が進行、事業環境においては期首想定と比べ、コンテナ船事業では北米航路などを中心に運賃市況が低迷する一方、自動車船事業では資源国を中心に新興国向けの輸送需要が低迷しました。当社は、一層の配船効率化や運航コスト等の削減に取り組みましたが、為替差損の計上もあり、第1四半期の業績が悪化しました。

第2四半期以降は、コンテナ船事業では北米・欧州航路ともに運賃市況の回復の兆しが見られ、ドライバルク事業でも歴史的な低水準な市況からの緩やかな回復を見るものの、英国のEU離脱決定などによる先行きに対する不確実性の高まりもあり、市況は上値の重い展開が予想されるため、通期業績予想については上記の通り修正しております。当社は計画通りに事業の構造改革を実施するとともに、更なるコスト削減や合理化による収益改善に努めてまいります。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

平成29年3月期第1四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）において、7,786百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。なお、当該為替差損は、主として、平成28年6月30日の為替レートを適用することにて発生した外貨建債権債務（海外連結子会社が計上する決算通貨以外の借入を含む）の為替評価替等によるものです。

以上

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。